

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587004101	科目番号 / Subject code	05870041
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	先進医学と現代社会 (免疫と病気)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	由井 克之		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	由井 克之		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	由井 克之, 本間 季里, 阿比留 教生, 一瀬 邦弘		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育, 経済, 水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	katsu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医歯薬学総合研究科・感染免疫学講座・免疫機能制御学分野		
担当教員TEL/Tel	819-7070		
担当教員オフィスアワー / Office hours	12-13時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	社会人として生活していく上で必要な医学的な知識を身につけること。特に感染から体を守る免疫系と、その異常による病的側面を中心に体の不思議な仕組みについて学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	感染等異物から体を守る免疫系の基本的な仕組みについて説明できる。 免疫系の異常による病気について、その種類と原因の概要を説明できる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式を主体とする。適宜課題を出し、またグループ毎の学生発表会等を開催して学生の授業への積極的な参加を促す。 身近な問題から始めて、免疫学の基本が理解できるように進める。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	抗体、白血球、感染		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	小安重夫著「免疫学はやっぱりおもしろい」羊土社2008年		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	筆記試験 (60%)。 授業中に行う課題レポート及び小テスト (40%)。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	先進医学と現在社会モジュールIに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入、 伝染病と二度なし (担当: 由井)		
第2回	二度なしの原理 (担当: 由井)		
第3回	抗体 (担当: 由井)		
第4回	グループ発表会 (担当: 由井)		
第5回	アレルギー I (担当: 本間)		
第6回	アレルギー II: プレゼンテーションと質問 (担当: 本間)		
第7回	ガン I (担当: 本間)		
第8回	ガン II: プレゼンテーションと質問 (担当: 本間)		
第9回	免疫不全症 I (担当: 本間)		
第10回	免疫不全症 II: プレゼンテーションと質問 (担当: 本間)		
第11回	免疫が自分を攻撃する病気とは? (担当: 一瀬)		
第12回	生活習慣病ではない糖尿病、免疫で起こる糖尿病とは? (担当: 阿比留)		
第13回	免疫病にはどのような治療法があるのか? (担当: 一瀬・岩本)		
第14回	免疫と神経・筋疾患 (担当: 阿比留・中嶋)		
第15回	総まとめ (担当: 由井)		
第16回	予備		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587004501	科目番号 / Subject code	05870045
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	先進医学と現代社会 (エイズと性感染症)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 教行		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西田 教行		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西田 教行, 佐藤 克也, 新 竜一郎		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育, 経済, 水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribaci@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	感染分子解析学		
担当教員TEL / Tel	095-819-7059		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜午後5時以降		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	HIV感染・エイズについての諸問題を考える。また他の性感染症の実態と対策について学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	<p>情報を集取できる 情報の信頼性を吟味できる 情報をもとに論理的考察ができる 異なるアプローチを理解できる 異なる意見、考え方を理解し議論できる</p>		
授業方法 (学習指導法) / Method	アクティブラーニングを中心に行う。テーマについて各自情報を集取し、分析、発表を行う。グループ学習を行う。講義時間は主にディスカッションの時間とする。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	エイズ、HIV、性感染症		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>参考図書 (推薦本) 薬害エイズ「無罪判決」、どうしてですか? : 桜井よしこ他 エイズを知る: エイズ&ソサエティ研究会議 感染症は世界史を動かす: 岡田晴恵 エイズ[ウイルスの起源と進化]: 山本太郎訳、Jaap Goudsmit著 エマージングウイルスの世紀: 山内一也 血液の歴史: ダグラス・スター著、山下篤子訳</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>レポート70点 発表30点 尚、詳細は変更することがある</p>		
受講要件 (履修条件) / Requirements	先進医学と現在社会モジュールIに合格し、医学生物学の基本的な知識をある程度有すること。		
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/mmi/cmb/index.html		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	講義オリエンテーション、概要説明、グループ分け、サブテーマ決め		
第2回	HIVグループ発表準備、グループディスカッション		
第3回	HIVグループ発表(1)、ディスカッション		
第4回	HIVグループ発表(2)、ディスカッション		
第5回	全体討論		
第6回	HIVグループ発表(3)、ディスカッション		
第7回	HIVグループ発表(4)、ディスカッション		
第8回	HIVグループ発表(5)、ディスカッション		
第9回	性感染症グループ発表(1)、ディスカッション		
第10回	性感染症グループ発表(2)、ディスカッション		

第11回	性感染症グループ発表(3)、ディスカッション
第12回	レポート作成準備
第13回	レポート作成指導
第14回	レポート作成指導
第15回	最終個人発表会(1)
第16回	最終個人発表会(2)

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587004901	科目番号 / Subject code	05870049
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	先進医学と現代社会 (感染症と文明)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山本 太郎		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山本 太郎		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山本 太郎, 和田 崇之		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	多文化、教育、経済、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-taro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	熱帯医学研究所206号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7869		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 16:00 - 18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	大きく病気を適応不応から理解する		
授業到達目標/Goal	自分で考え、発表できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義 + 集団学習 + プレゼン		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『感染症と文明』(岩波新書) 『新型インフルエンザ』(岩波新書) 『エイズの起源』(みすず書房)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	グループ発表		
備考 (URL) /Remarks(URL)	http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/newrect/		
学生へのメッセージ/Message for students	積極的な授業への参加を期待しています。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	ドイツ医学の導入、制度設計、コレラ、急性感染症、海港検疫と長崎		
第3回	産業化進展にともなう疾病構造の変化、慢性感染症、結核、女工		
第4回	戦後復興とGHQによる制度改変、アメリカの影響、マラリア、彦根		
第5回	生物学基礎。細菌とウイルスなど、生物分類		
第6回	生物学基礎。生物の構成因子の理解が病原体への認識を変えたことについて		
第7回	ダーウィニズム、ラマルキズム、中立説。生物の進化と病原性について		
第8回	ペスト、梅毒など、感染症が歴史を変えた事例について		
第9回	隔離対策、抗生物質の発見、疫学研究など		
第10回	現代社会での新興感染症、インフルエンザ、HIVなど		
第11回	個々の研究事例の紹介		
第12回	個々の研究事例の紹介		
第13回	休講		
第14回	テーマ発表		
第15回	テーマ発表		
第16回	テーマ発表		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587005301	科目番号 / Subject code	05870053
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	先進医学と現代社会 (話題の先進医学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	工藤 崇		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	工藤 崇		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	工藤 崇		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tkudo123@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	原爆後障害医療研究所 原研放射		
担当教員TEL / Tel	095-819-7101		
担当教員オフィスアワー / Office hours	16:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	現代の医学としてどのようなものが行われているかを知るとともに、医学が工学、数学、理学などの他学問との密接な関係で成り立っていることを知り、応用発展を考える。なお、本授業でいう「先進医学」とは法的に定義された用語としての「先進医療」ではなく、進んだ医療・近代的な医療・医学という意味です。		
授業到達目標 / Goal	医療における医学・生物学とそれ以外の学問領域との関連を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	様々な医学の技術、診断、治療法を講義を通して知る。それとともに、それらの医療技術のためには医学・生物学以外にどのような領域の知識が必要とされるかを自習・発表・討論を通して考察する		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	近代医学、先進医療、医学、統計学、工学、数学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は必要としない。適宜、プリント・資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	2/3以上の出席。グループ学習、発表、討論は全出席。レポートの提出を義務づける。		
受講要件(履修条件) / Requirements	原則として、全回出席。予習を十分に行い、討論の時間には積極的な発言が望まれる。		
学生へのメッセージ / Message for students	時々、新聞記事、ネットなどを用いて現代の医学についての予習を要求します。また、得られた知識を用いてどのような新たな先進医学が可能であるか、考え発表してもらいます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	診断学と放射線		
第3回	X線を用いた画像診断		
第4回	X線を用いない画像診断(MRI)		
第5回	放射性同位元素を用いた診断		
第6回	統計学と画像		
第7回	放射線と治療		
第8回	グループ学習：物理学と医療		
第9回	歯学・歯科理工学を学ぶ前に必要な知識		
第10回	歯学と材料工学		
第11回	感覚器先進医学を学ぶ前に必要な知識		
第12回	耳鼻科先進医学と工学		
第13回	眼科の先進医学と光学		
第14回	グループ学習：医学以外の学問を医学に応用するには		
第15回	グループ学習発表		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587005701	科目番号 / Subject code	05870057
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	先進医学と現代社会 (幹細胞と再生医療)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	李 桃生		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	李 桃生		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	李 桃生, 田口 潤, 堺 裕輔, 小野 悠介		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1-4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	litaoshe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	原爆後障害研究所 幹細胞生物学部門		
担当教員TEL / Tel	095-819-7099		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8:00am-5:00pm		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	幹細胞と再生医療は医学と生命科学領域に非常に注目されている最先端の課題であるが、不明な点も多く存在する。生命、健康、医療、倫理、医療ビジネスなど様々な角度から、このは話題性の富む課題に直面している問題点を提起し、物事に関する分析、考え、解釈など基本的な能力を養う。		
授業到達目標 / Goal	最先端の幹細胞と再生医療に関する基礎知識、研究応用の現況と問題点を伝授しながら、基本的な考えと解釈の力を養う。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義形式で行いますが、幹細胞と再生医療に関する専門知識の伝授よりも一般的な問題について質疑応答を取り入れ、学生の考える力、解釈の力などを鍛える。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	幹細胞, 再生医療, 疾患		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業内の質疑応答とレポート (50%) 発表 (25%) 試験 (25%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	授業に出席でき、問題を積極的に考える学生		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	ガイダンス (李桃生) General guidance of lecture.		
第2回	幹細胞の基礎知識 (李桃生) Basic knowledge on stem cell biology.		
第3回	体性幹細胞について (李桃生) About the adult stem cells.		
第4回	胚性幹細胞について (李桃生) About the embryonic stem (ES) cells.		
第5回	iPS細胞とSCNTについて (李桃生) About the induced pluripotent stem (iPS) cells and cloning technology.		
第6回	筋肉幹細胞について (小野悠介) About muscle stem cells (satellite cells)		
第7回	中間発表・討論 (李桃生) Presentation and discussion.		
第8回	再生と再生医療の基礎知識 (李桃生) Basic knowledge on regenerative medicine.		

第9回	造血幹細胞と再生医療（1）（田口潤） Hematopoietic stem cells and clinical applications (1).
第10回	造血幹細胞と再生医療（2）（田口潤） Hematopoietic stem cells and clinical applications (2).
第11回	肝臓・膵臓の再生医療（堺裕輔） Stem cell therapy for liver and pancreatic diseases.
第12回	消化管の再生医療（堺裕輔） Stem cell therapy for digestive diseases.
第13回	心臓・血管の再生医療（李桃生） Stem cell therapy for cardiovascular diseases.
第14回	脳・神経の再生医療とその他（李桃生） Stem cell therapy for brain and neurological diseases and others.
第15回	発表・討論（李桃生） Presentation and discussion.
第16回	試験（李） Test